

令和元年度（第13期第5回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

令和元年9月24日(火)
午後2時
小村大中間処理施設
2階研修室

- 1 施設見学
○終了後、質疑応答
- 2 審議会開会
○資料確認・説明
- 3 部長挨拶
- 4 事務局報告
(1)有料化後のごみ量等の推移について
(2)環境フェスティバルの開催について
- 5 議事
(答申に向けて)
(1)今後の施策のあり方（エコショップ制度について）
(2)市民・事業者・行政の協働のあり方（クリーンメイト・ボランティアについて）
- 6 その他
- 7 閉会

諮問事項

- 「ごみの減量・資源化に向けた今後の施策のあり方について」
「ごみ減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について」

配付資料

- 1 第13期廃棄物減量等推進審議会の答申（案）について
- 2 家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について
- 3 こだいら環境フェスティバル2019開催報告

資料1
参考資料
参考資料

会長	ただいまから、第5回の審議会を開催いたします。 本日は傍聴希望の方はおりません。 また、職務上の異動により交替がありましたので事務局よりお願いします。
事務局	いなげやから選出の委員が、職場の異動により退任され、本日新たにいなげやより新しい委員が参加されておりますのでご紹介いたします。 (新委員が自己紹介と挨拶を行う)
会長	それでは施設見学に際して、事務局から説明をお願いします。
	(小平・村山・大和衛生組合事務局からの説明、施設紹介のDVD上映および施設見学を行う)
会長	それでは審議会を再開いたします。事務局から配付資料の確認をお願いします。
事務局	まず右上に資料1と入っております A4判1枚の資料1「第13期廃棄物減量等推進審議会の答申(案)について」です。 次に、右上に参考資料と入っておりますA4判2枚の「家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について」です。 最後に、右上に参考資料と入っております A4判1枚の「こだいら環境フェスティバル2019開催報告」です。説明は以上です。
会長	それでは、続いて事務局報告をお願いします。
事務局	最初に有料化後のごみ量の推移につきましてご報告いたします。 お手元の参考資料「家庭ごみ有料化及び戸別収集によるごみ量等の推移について」をご覧ください。 (有料化後のごみ量推移についての報告を行う) 続きまして、去る9月7日に開催されました、環境フェスティバルにつきましてご報告いたします。お手元の参考資料「こだいら環境フェスティバル2019開催報告」をご覧ください。 (環境フェスティバルについての報告を行う) 報告は以上です。
会長	事務局報告に質問等がありますか。 (質問はなし)
会長	それでは、議事に移ります。本日の議題は、今後この第13期の審議会として、市長からの諮問事項に対してまとめる答申書について審議したいと思います。 まずは諮問事項の1点目、「ごみの減量・資源化に向けた今後の施策のあり方」に関して「エコショップ制度について」となります。 では事務局から説明をお願いします。
事務局	皆様、第13期審議会委員の任期は、来年6月で満了となります。 今後の審議会は、議会の日程も鑑みまして、明年3月ごろに第6回、4月ごろに第7回の審議会を予定しています。 第7回の審議会では市長への答申を行う必要がありますので、諮問事項に対する答申は今回と次回でまとめて頂くようお願いいたします。

	<p>諮問事項につきましては、幅も広く抽象的な部分があり、まとまりにくいところもあるかと考え、今までの審議でご議論いただいた内容を答申案として、今回ご提示させていただきます。それが今回の資料1ですが、ご了承いただけるのであれば、この案に沿って様々なご意見を頂戴しながら、答申をまとめていければと考えております。</p> <p>(エコショップ制度拡大について説明を行う)</p>
会長	<p>ただいまの件につきまして質問、意見等ございましたらお出しください。</p> <p>まずは、「クリーンメイトこだいらによるエコショップ制度拡大の協力について」です。</p>
委員	<p>私はクリーンメイトの活動も経験しておりますが、マイバッグキャンペーンを見ると現在ではかなり普及しているようです。クリーニング店のハンガー回収による割引なども見かけますが、意外に周りに協力店舗はあるのかと思います。</p> <p>また食物資源循環事業にも参加しておりますが、生ごみの減量には大変効果があります。</p>
副会長	<p>店舗では、協力すると何が得られるというのが明確でないと感じるので、今後は広報が重要です。また飲食店の小盛メニューやドギーバックは、今後広まっていくと思っています。</p>
委員	<p>市の方ではどのような活動を行ってききましたか。</p>
事務局	<p>エコショップ制度自体始まったばかりですが、今後は認定シールを作成したり、全戸配布のごみ出しカレンダーで大きくPRを行っていきます。</p>
委員	<p>クリーンメイトの活動とはどのくらいのものか。</p>
事務局	<p>定期的な会合を行い、毎年市報で募集もしております。昔から活動を続けている方が多いのですが、今年は若いメンバーの新規加入もあり期待しております。</p>
委員	<p>小規模店舗のためのエコショップ認定は、これまでなかったことですね。</p> <p>HPやアプリでの情報発信は、店舗の情報を市民に発信したいのか、あるいは店舗を募集したいのか。</p>
事務局	<p>クリーンメイトが集めた情報を発信したり、市のPRによってエコショップ店舗の支援ができるようにと考えております。また今後は、一般の方からの情報提供も検討します。</p>
委員	<p>クリーンメイト会議では、皆さん報告をされていますか。</p>
事務局	<p>報告しやすいように、報告書のフォーマットを作成しました。クリーンメイトは、戸別収集が始まる前は、地域の集積所のパトロールや排出指導をしておりましたが、この4月から収集方法が大きく変わったことで役割も変化しております。</p> <p>まだまだ機能はしていないかも知れませんが、これからは流れを変えていきたいと考えています。</p>
会長	<p>エコショップ制度は、まだ始まったばかりですので、広報のため、なるべく市民の目に触れるような活動をして認知度を高めてもらえればと思います。</p>
会長	<p>食物資源循環事業で、生ごみ処理機購入補助の充実とありますが、これらについてご意見がありますか。</p>
副会長	<p>現在、廃棄されているごみの中では生ごみが一番多いので、ごみ減量にあたり力点をおくべきものと思っています。市ではコストの心配もあるようですが、ペットボトル</p>

会長	等と比べても、極端に高いわけではないので、ぜひ進めてもらいたいと思います。持っていく先が遠いので輸送費が高むのだと思います。
副会長	食物資源の受け入れ態勢は、ちゃんとできているのでしょうか。
事務局	今の段階では対応できていますが、今後拡大していくと、引き取り先を探す必要が出てくるかもしれません。急激に増えるとは思えませんので、今後も研究しながら実施してまいります。
会長	小平市の食物資源循環事業は、他市ではあまりみられません。やるとすると市民の協力が得られるか、コストがどうかということがあり、踏み切れないのではないかと。
委員	参加は、戸建てでもマンションでも、3軒以上集まればできるのですね。収集回数など内容をもう少し詳しく教えてください。
事務局	週に1回の収集で、戸建て・マンションともにやっております。白い抗菌バケツをお配りして、その中にレジ袋等に入れた生ごみを入れます。それをグループで決めた置き場所に出してもらい、業者はバケツの中から回収します。蓋を閉めれば臭いしませんし、家庭ごみの大きな減量に繋がります。また出来上がった堆肥は、イベント配布や参加世帯に配っており、多くの方から好評をいただいております。非常に良い事業ではありますが、業者が3軒ごとの戸別収集を行う業務量の負担や、瑞穂町まで運搬することによるコスト高があり、大幅に参加数を増やすことができない現状です。
委員	1軒で参加できればよいのですが、難しいのですね。
事務局	当初は5軒単位だったものを、要望で3軒に変更した経緯があり、これ以上は個別収集と大差ないため難しいです。
委員	3軒のグループでバケツを1個使うのですか。
事務局	バケツは1軒に1つです。
委員	目標の3,000世帯を達成した場合は、どれくらい生ごみが減ると考えられるか、ごみ減量の目標値に対して、どのくらい影響したかが施策の効果だと思います。
事務局	効果の数字はありませんが、平成30年度は生ごみ71トン进行回収、資源化しました。また生ごみ処理機は、推計値で8.4トンの生ごみを資源化しました。
会長	費用対効果の数字は出そうと思えば出せるし、CO2削減効果の数字もあるとは思いますが、あくまでも試算、参考値となります。
副会長	3,000世帯が目標というのは、予算の限界ですか、あるいは実際にこの数をやりたいのでしょうか。
事務局	現在の「1,000世帯実施中で200世帯待ち」という状況は、まずは予算的な原因です。また3,000世帯とは、予算の話ではなく目標です。今後、皆様からの答申を追い風にして、財政担当とも粘り強く交渉を続けたいと考えております。
会長	では次に諮問事項の2点目、「ごみ減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方」に関して「クリーンメイトとボランティアについて」となります。では事務局から説明をお願いします。
事務局	続いて説明を行います。

	(クリーンメイトとボランティアの説明を行う) 説明は以上です。
会長	昨年2月に出された答申で、今後の検討課題に、循環型社会の形成推進にあたり留意することとして、「市と市民・事業者による協働を目指し施策の展開を推進する」とあります。さらに、「自主的な取り組みの育成として協働の輪の拡大をはかる」ことが挙げられています。これを受けて、今回の審議会で検討するという流れになっています。
会長	では、ただいまの件につきまして質問、意見等ございましたらお出してください。
委員	10月20日の市民まつりに、クリーンメイトこだいらのブースが出展されますが、こちらにいらっしゃる方もご参加いただければと思います。
委員	まずはPRが重要で、ごみ減量にはまず一人一人が分別を徹底することです。本日の見学での不適物の混入にはショックを受けました。よく知ることによって「ちょっとなら良いかな」という考えは持たなくなります。市報やカレンダーに掲載して、繰り返し情報発信を続けていただきたい。
会長	民間の中間処理施設では、インスリンの自己注射器の例をよく見ます。針は金属ですが本体はプラ、それを勘違いして大量に出している。先のご意見の通り、今後は不適物の情報の周知をしていくことが大切です。
委員	医療系のごみは病院で廃棄するものではないから自宅から出る。
委員	在宅医療の場合、ヘルパーが来ていることも多いですから、その方面への周知も大事、療養者本人は認知症の場合もあり、色々な角度からの周知が大切です。
会長	市の方でも制度的な働きかけは行っていると思いますが、自治体は薬局や病院と連携して使用済み注射器を回収しているかと思っています。プロへの周知徹底をお願いしたい。
事務局	パンフレットにも記載していますが、在宅医療ごみとして、医療パック等は中身を汚物としてトイレに流し、燃やすごみとして回収しています。 また医療機関に返す物として、注射器、注射針等を示しておきまして、今後これらの周知徹底に努めていきます。
委員	見学中に、たまたま不適物でライターがあり、作業員がはじくのを見ました。 自宅で分別が不明な時に見るのは、カレンダー・パンフレットですが、実際にはそこまでたどり着かないのでは。つまり混入には、悪いと分かってやっている場合と、分からないでやっている場合があるのではないかと。啓蒙のために広報を行ってほしい。
会長	広報は改めて、徹底する必要があるかもしれないですね。
副会長	話をボランティアに移します。高校生のボランティアの話が事務局からありましたが、ポテンシャルとして大きいと思います。地元の高校生が多くボランティアに関わってくれば、何か新しいこともできるのではないかと。そのまとめ役を担うことが重要ではないか。 また環境やごみの問題にこだわらず、まちづくりやお祭りの団体にも声をかけて伝えていくのも大事かなと思います。
会長	市民ネットワークの立ち上げについては、ワークショップを通じて行うのも一つのやり方かと思っています。かつてフェスティバルを、実行委員会が運営していた実績もあり

	ますから、新たな団体に期待したいと思います。
委員	事務局提案の1、2ともこの議論でよく理解出来ました。次回3月には、今日の意見をふまえてわかりやすく整理していただきたい。 1では、クリーンメイトの高齢化に対して、イベントボランティアを中心にやっていく、その底上げとあったが関係性がよくわからない。予備軍としてボランティアを増やし、クリーンメイトを強化するというのか。 2では、ボランティアのネットワーク化とは何か、立ち上げる新しい組織は何のための組織かを明確に示していただきたい。
委員	今回は、具体的な制度的枠組みをお示しいただければと思います。
事務局	今回の報告は、市が運営した環境フェスティバルについてのものです。 今後、市民まつりにクリーンメイトのブースを設け、マイバッグキャンペーンを実施しますので、見識も深まるかと思っておりますので、よろしければご協力をお願いします。
会長	時間もかなり押しておりますので、この辺りで会議を閉じさせていただきたいと思っております。活発なご意見ありがとうございました。
会長	では事務局より、その他の事項をお願いします。
事務局	今回は多くのご指摘もいただきまして、次回の会議ではわかりやすく、読むだけでわかるような資料を作ってまいりたいと思っております。 次回、第6回目の審議会でございますが、明年の3月16日(月)か、18日(水)のいずれかの午後2時に開催を予定しております。場所は小平市リサイクルセンターになります。
会長	それでは、第6回審議会の開催日程を決めたいと思っております。 委員の皆様のご都合の悪い日に挙手していただき、都合の悪い方が少ない日に決めさせていただきます。 3月16日(月)午後2時が都合の悪い方は【2名】 3月18日(水)午後2時が都合の悪い方は【3名】
会長	それでは、次回の開催は、明年3月16日(月)午後2時からとさせていただきます。皆様ご予定ください。
会長	本日はこれで閉会といたします。 お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。
	(散 会)